

カビ対策

もうすぐ梅雨に入りますね。毎年竹カゴにカビが生えてしまって困っている方も多いと思います。材料の竹ヒゴは十分に乾燥させ、水分を飛ばしカビが生えにくいように、しているのですが、どうしてもこの季節には生えやすいのです。そこで、カビが生えてしまった時の対策とカビ防止対策を紹介致します。参考にしてみてください。

★カビが生えてしまった時は!!

濃いめの漂白剤につけて、よくすすぎ直射日光で十分に乾燥させて下さい。

《注意》水分が残っていると、さらにカビが生えてしまいますので、直射日光で短時間で充分乾かして下さい。

★カビを生えにくくするには!!

竹カゴを購入後、油（オリーブオイル・椿油）やニス塗ると効果があります。具体的な作業は速乾性ニス（油性）を薄め液で薄め、1回目に下塗り作業をし、すぐに乾くので連続で3回ほど丹念に刷毛で塗って下さい。塗り終わったら、2時間も通風性の良い半日陰で乾燥しておけばすぐに使えますが、揮発性溶剤の臭いがなくなってから鳥を入れた方が良いでしょう。この処理をすると、水浴びさせた際の乾きも早くなります。

竹椿油



ネットショップで
購入できます。

小

内容量：100ml
希望小売価格(税抜)
1,200円

大

内容量：200ml
希望小売価格(税抜)
2,000円



★一番オススメなカビ防止は!!

なんとといっても《水》が敵ですので、水分を十分に飛ばすためにも竹カゴを2個用意し一方をきれいに掃除し十分に乾燥させている間、もう一方に小鳥を移してそのカゴで飼育します。そして、十分に乾燥させたらまた元のカゴに戻すというように、乾燥期間を充分に取れるように2個のカゴを交互に使って頂くと、カビも生えにくいと思います。